



カナダ産 OSB で空間を仕上げる リフォームの材料としての可能性

カナダ産 OSB をリフォームの内装仕上げ材として使ってみると、意外な魅力と利点が見えてきた。行政書士の千葉帯之氏がリフォームでカナダ産 OSB を採用した自宅や事務所が好評で、仕事や勉強に様々なプラスの効果を実感しているという。



元和菓子店をカナダ産 OSB で事務所(左)と接客スペース(右)に改装。「木質の温かみのある空間は人の心を柔らかくする効果があります。スタンプがないと逆に物足りないかも」と千葉氏

カナダ産 OSB でスタイリッシュな空間に

千葉氏がカナダ産 OSB をリフォームで使い始めたのは、まったくの偶然だった。実家のリフォームを業者に依頼した際、折しも東日本大震災後で国産針葉樹合板が入手しづらかった時期。真壁とじゅらく塗仕上げの純和風の部屋を洋風に変えるリフォームの過程で、既存の塗り壁の上からカナダ産 OSB を下地材として施工していた。最終的にはクロスで仕上げる予定だったが、施工現場を見た千葉氏が OSB を気に入る、仕上げとしてそのまま残すことにした。

続いて、クロスが剥がれていた事務所のリフォームにカナダ産 OSB を全面採用すると、スタイリッシュな空間に生まれ変わったことに驚いた。当初は DIY で施工していたが、やはりプロの方が早くきれいに仕上がるのがわかり、付き合いがあったヒロ住建の協力を得て仕上げていくこととなった。

リフォーム素材として最適

カナダ産 OSB がリフォーム素材として最適なのは、塗り壁・クロスを問わず、その上から施工できる点にある。古い仕上げ材を撤去する必要がないので、費用を大幅に抑えられる。経年劣化でクロスは剥がれてくるが、木質素材の OSB は逆に深みが出てくる。最もカナダ産 OSB の良さが活かされるのは子供部屋や仕事部屋の改装で、必要に応じて OSB の壁に直接ビスを打って机や棚を作ることができ、ビスを外してもその跡がほとんど気にならない。自分が好きなものを気にせず簡単に取り付けられるというのは大きな魅力だ。

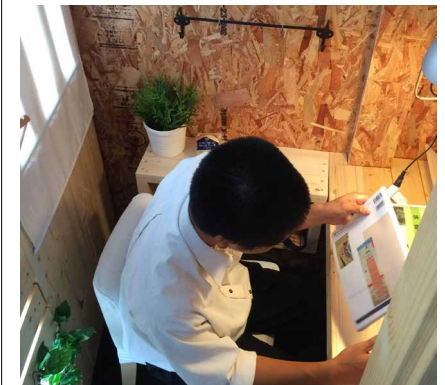
木質素材のカナダ産 OSB に囲まれた空間は、落ち着いた温かな雰囲気。「5年間 OSB の空間で過ごしていますが、ストレスがありません。事務所では細かい配慮を必要とする面談が多いのですが、人の心を柔らかくする効果があるようです」と千葉氏。ヒロ住建では、DIY をサポートしたり、プロの大工が仕上げたりと様々なメニューを用意しており、「OSB リフォームを普及させたい」と加藤勝弥専務は話している。



ヒロ住建の加藤勝弥専務(左)と千葉帯之氏(右)



純和室の部屋がカナダ産 OSB でスタイリッシュな空間に生まれ変わった。和室を敬遠していた若い世代にも大好評



カナダ産 OSB で勉強スペースを作った事例。OSB で囲まれたプライベートな空間は、勉強や仕事に集中できる。親戚の子供二人が利用したところ、学校の成績が大幅に上がったという。

帯安行政書士事務所

本社：宮城県仙台市宮城野区松岡町 56-2
代表：千葉 帯之
HP：sendai-taian.jp
電話：022-778-7566

株式会社ヒロ住建

本社：仙台市泉区南光台南 2-17-11-102
代表：加藤 勝弘 (代表取締役)
HP：natural-life-home.jp
電話：022-388-3338
1998年1月設立。リフォームと新築を中心に事業を展開。